第65回岡山県美容技術コンクール 競技要綱

【ヘアスタイル競技の部】(モデルウィッグ使用)

☆ 日 時 令和7年6月16日(月)
選手受付 8:10~9:00
※時間厳守(遅れると受付ができない場合があります)

☆ 会 場 岡山市中区門田本町4丁目1番16号
岡山国際ホテル

☆ 全競技に関する注意事項

- ①出場者は受付を済ませ必ず9時までに選手控室にて待機すること。
- ②出場取消しについては、特別な事情がない限り、1週間前までに 組合事務所 (Tel 086-222-3221) に連絡のこと。
- ③エントリー料は如何なる理由があろうとも返金できません。
- ④参加賞 (Tシャツ) 及び、お弁当はありません。
- ⑤各種目、エントリー者数が3名未満の場合、競技種目の除外等の規定を設けています。
- ⑥各種目、エントリー者数が6名未満の場合、優勝賞金の授与はありません。トロフィー及び賞状のみの授与となります。
- ⑦業務の都合上、電話でのお問い合わせ、質問等はお受けできません。ご質問等は、FAX 及び、下記アドレスのEメールでお問い合わせ下さい。

<お問い合わせ> FAX : 086-223-7455
Email : info@ba-okayama.or.jp

☆ 全競技に関する禁止事項

- ①選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は白いもの、下は黒または濃紺のスカートまたはスラックスとし、帽子は禁止する。靴はヒールの低いものとする。
- ②選手は、ガムを噛んだり、口の中に物を入れて出場してはならない。
- ③選手・モデルは控室以外で飲食してはならない。
- ④競技中、選手同士またはモデル・観客と会話等をしてはならない。
- ⑤競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
- ⑥競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない等の行為は、退場を命じることがある。
- ⑦控室は、受付終了後から閉会式終了後まで、監視員以外出入りは禁止です。
- ⑧館内禁煙です。喫煙所以外での喫煙はしないでください。
- ⑨ゴミの持ち帰り、後片付けなど社会人としてのマナーをお守りください。

(1) 出場資格 有資格者

(2) 競技時間 …… 30分

(3) 競技内容 ~クリエイティブ・ファッション~

ブローテクニックを最大限に活用して、感性に富んだ独自の創造性・ファッション性・芸術性が表現され、進歩的なヘアスタイルを制作するものである。

※ 本競技はモデルウィッグを使用して行う。

(4) 競技に関する制限及び禁止事項（違反した場合は、減点もしくは失格となる。）

- ①競技は各自のモデルウィッグ(自由)を使用して行う。
- ②モデルウィッグの髪は、事前にシャンプーを済ませ、毛髪を乾かした状態（仕上げの形付けのための整髪料、カーラー、ピン類がついていてはならない。）で持参すること。（控室で事前点検を行う。）髪を濡らす場合は、競技ステージで競技開始前に行わなければならない。
- ③万力は、競技中机に固定しておかなければならない。（万力は選手が持参し、目印等をつけてはならない。）
- ④万力に挟むタオルは、選手が持参しなければならない。
- ⑤競技終了後、作品にピンを残してはならない。
- ⑥競技終了後、選手はモデルウィッグに一切触れてはならない。
- ⑦競技終了後、選手は直ちに用具その他のものを持って退場しなければならない。
- ⑧審査中、モデルウィッグは固定された万力の上に置き、指示された方向に向けなければならない。
- ⑨編み込み・まとめ髪は禁止する。
- ⑩“ネオン”カラー（蛍光をともなった色）を除き、カラーの選定は自由である。
- ⑪カラスプレーは禁止する。（ラメ入りも禁止する。）
- ⑫ヘアピース、ヘアアクセサリは禁止する。
- ⑬イヤリング、ピアス類は使用可能であるが、競技時間内（30分）につけなければならない。（イヤリングはヘアラインより上に上がってはならず、ウィッグの台座より下がってはならない。）
- ⑭メイクは自由とする。ただし、タトゥー（絵）等は禁止する。
- ⑮モデルウィッグに洋服は取り付けてはならない。（首にスカーフを巻くことも禁止する。）
- ⑯ウィッグへの印、ピン打ち等は禁止する。ただし、イヤリングを留めるためのピンは可とする。
- ⑰競技に必要なすべての用具の使用を認める。ただし、シザーケース（施術中に腰やベルトに下げてはさみ等用具を収納する革製等のケース）は禁止する。
- ⑱電源は1人1.2kwまでとし、コンセントは1口用である。（2口用コンセントは禁止する。）
- ⑲控室で電源の設備はない。

(5) 留意事項

- ①モデルウィッグ（自由）・万力・タオルは各自持参のこと。
- ②ドライヤーのコンセントは1口用で1.2kwまでとする。（延長コードを持参のこと）
- ③モデルウィッグは、競技前に監視委員が厳重に点検を行う。
- ④シザーケース（施術中に腰やベルトに下げてはさみ等用具を収納する革製等のケース）は禁止する。

(6) 審査 独創性・ファッション性・芸術性などを勘案した総合審査とする。